

部門名	電気設備工事
案件名	松江市消防用多重無線設備更新工事
工期（始）	令和4年5月17日
工期（終）	令和5年3月24日
場所	学園南一丁目外
事業者名	和幸株式会社
代表者名	代表取締役 山下 剛史
技術者役職	主任技術者
技術者名	原田 勇太
工事概要	<p>①消防本部及び澄水山中継局の機器更新 （多重無線装置、パラボラアンテナ等）</p> <p>②消防本部の既設ネットワーク管理装置の更新</p> <p>③澄水山中継局の無線中継鉄塔の塗装</p>
表彰理由	<p>本工事は、新スプリアス規格に対応した無線設備の更新及び経年劣化に伴う機器等の老朽化による整備である。消防業務を遂行するうえで必要不可欠な無線設備であり、当該施設は毎日稼働しているものである。そのため、消防無線の一時的な停波にかかる協議や各機関への調整など今回の工事にあたり事前準備がより必要な工事であったが、配置技術者主導のものと的確におこなわれた。また、新型コロナウイルス感染対策が適切に講じられており、消防本部庁舎の通常業務に妨げにならないよう楊重作業計画がなされていた。その結果、トラブルかつ手戻りのない計画的な工事の進行を実施することができ、全体として優良な工事であった。</p>

本工事の表彰技術者である、和幸株式会社の主任技術者（当時）原田勇太氏は受賞の感想を、「受賞する機会を頂けたことは大変光栄に存じます。ひとえに、この工事に携わった協力会社や同僚のサポートあつての結果だと思っております。ご指導いただきました監督員様には感謝申し上げます。」と話す。

本工事で印象に残っていることは「本工事で更新した多重無線と呼ばれる設備は市民の皆様の生活に欠かせない消防・救急業務を支える大切な設備です。こういった業務に支障を来すことが無いよう、設備の停止はなるべく短期間に、かつ手戻りの無いよう施工を進める必要がありました。施工にあたっては、設備停止とその影響範囲が最低限となるよう、消防本部様と協議を重ねました。結果、無事に設備の切り替えを終えられたことが印象に



残っています。」と振り返る。

原田氏は仕事における今後の目標は「自身の会社での立場上、後輩を指導・育成する側としての機会が増えてきました。そのために自身のスキルアップに努め、適切な指導ができるよう努めていきたいです。」やりがいについては「建設業は技術の進化が絶えず行われている業界です。新しい技術や製品、施工方法など、常に学び続けなければなりません。自身の専門知識を成長・発展させるこのプロセスがやりがいにつながると考えています。」と話す。

これから建設業界を目指す人へは「建設業は生活インフラの整備・維持に関わる重要な職種であると考えています。仕事をしていると困難に直面することもありますが、乗り越えることで自身の成長や達成感につながります。果敢にチャレンジする姿勢を大事にしてください。」とメッセージを送った。

最後に、原田氏が勤務する和幸株式会社について紹介してもらいました。

「創業 100 年を超える当社は陸上・海上両分野において総合通信ビジネスを、目指しています。決して多くの人目に触れる仕事ではありませんが、私たちは地域の人たちの安心安全な暮らしを縁の下で支えています。」



和幸株式会社  
(写真左) 取締役 松江支店長 山崎氏  
(写真右) 主任技術者 原田氏